

第46号 発行

豊橋市立賀茂小学校

〒441-1101

豊橋市賀茂町字森信24番地

☎ (0532) 88-0400

せんだん



新しい歴史の一步を

賀茂小学校教務主任 山本正芳

令和四年度、世界ではロシアのウクライナ侵攻、トルコを震源とする大地震、日本に目を向けると、新型コロナウイルス第七波・第八波、サッカーワールドカップ・ドイツ・スペイン戦勝利、円安、物価高…、激動の一年でした。そして、新型コロナウイルス感染拡大から四年目に入りました。政府は新型コロナウイルスの「五類」移行に伴い、マスク着用は、令和五年度の三月十三日から屋内外問わず個人の判断に委ねる、学校では四月からマスクの着用を求めないことを基本とする指針を示しています。徐々に元の学校生活が送れる日が近づいています。

そんな令和四年度、本校（賀茂小学校）は、明治五年、本願寺を校舎に賀茂郷学校を始まりとして、創立百五十年を迎えました。創立百五十年記念式典では、六年生が「私たちがつくる賀茂小の未来」賀茂小百五十年の歴史とともに「と題し、賀茂小学校百五十年の歴史について学んだことを発表しました。賀茂の歴史を学習した六年生は、自然豊かで歴史や「よさ」のたくさんある賀茂を誇りに感じ、その歴史や

「よさ」を伝えていくこと、残していくことの必要性を訴えました。「よさ」とは、賀茂小の子どもたちは、全校の子がとも仲よく、みんなが協力することができることであると。賀茂小の「よさ」が続いていくように、賀茂小の「よさ」がさらに伸びるようにがんばってほしいですと、一、五年生に伝えている姿が印象に残っています。

六年生は、昨年度から「挨拶」「姿勢」「発言」この三つを豊橋一になるようにがんばっています。毎朝、二十名くらいでしょうか、六年生が全校の子に声をかけ、職員室と校長室に挨拶をしに来ています。私は、教師となり、本校が六校目ですが、このような場面を目にするのは初めてです。子どもたちのパワーに満ちあふれた声を聴くと、やる気スイッチが入ります。賀茂小の子どもたちが、この新たな歴史を伝統として引き継いでいくことを願っています。

最後になりましたが、賀茂っ子一人一人の成長が賀茂小学校の新たな伝統になっていきますよう、これからも家庭・地域・学校が手を取り合って、教育活動を進めていきたいと思えます。今後ともご理解ご協力をお願いいたします。

主体的に学び**問題を楽しみながら****解決する賀茂っ子の育成****こがも 『いつもしんけん』**

「自分から挨拶」「係や当番、水やりをしっかりと行う」ことを目標にがんばってきました。決めたことを最後までがんばる姿に大きな成長を感じました。今年度は、地域に出かけ活動することができました。遠足のおやつなどを買いに行ったり、恵実市で野菜を買ったりしました。3ブロック交流会では石巻中学校で多くの友達と交流をしました。行事や体験活動に向け、準備や学習にも生き生き取り組むことができました。来年度も今年度のようにすくすく成長してほしいと思います。【坂上】

1年 『わくわく』

おうちの方や地域の方、先生方、上級生に温かく見守られて学校生活がスタートした1年生。どきどき、わくわくの連続でしたが、今では賀茂小の1日のサイクルが身につき、だんだんと周りに目を向けられるようになってきました。身体も心も、日々成長しているのが感じられ、うれしく思います。

来年は下の子が入学してきて、お兄さんお姉さんになります。2年生でも「わくわく」した気持ちをもってがんばってほしいです。【飛安】

〈ようこそ新1年生の会を行いました〉**2年 『チャレンジ』**

なにごとにも挑戦するということを目標にスタートした2年生。まずは発言や発表の場などで「ちょっと自信ないけどやってみよう」と挑戦する姿が見られました。勇気を出して挑戦し、その挑戦の中でさまざまな気づきを得て、不安だった表情がすっきりとした表情に変わっていく場面をたくさん見ることができました。

がんばって発表や発言をした子には、みんなで拍手をし、意見や感想を伝え認め合うことができる素敵な子どもたちと、とても温かな雰囲気でも過ごすことができた一年間でした。【木村】

〈2学期終業式。行事もがんばりました〉**3年 『考動』**

子どもたちには、毎年4月に「周囲の様子や状況を考えて、自分から動けるようになろう」と話をしています。本年度3年生の子どもたちも、TPOをを考えて動く・「考動」を学級目標に、一年間パワーアップしてきました。

ちょうど今、教室では子どもたちが自分たちで考えて世話してきたイチゴが、真っ赤な実をたくさんつけています。4月に比べて考動できるようになった子どもたちと美しい果実の姿が重なるようで、大きな成長にうれしさを感じています。【中村】

〈運動会当日の朝。準備OK!!〉

4年 『Step up! ～みんな仲よく元気よく～』

「仲がよい元気なクラスにしたい」と4月に話し合い、学級目標を決めました。日々の生活はもちろん、行事などさまざまな経験を通して成長する姿が見られました。運動会では、委員会活動やたてわり活動の中で全体のことを考えて動くことができるようになりました。学習発表会では、自分たちで話し合いを行い、クイズや劇などわくわくする発表ができました。帰りの会では仲間のよかったところを発表し、温かい雰囲気仲間と過ごしています。5年生に向けて、クラスで協力して学校を盛り上げていけるようになってほしいと思います。【朝倉】

〈学習発表会のようす〉



5年 『響け 全カパワー』

もしまえのエネルギーを存分に使って、高学年として全校を盛り上げていくことができました。さらにクラス内でも、一人一人の全がお互いの心に響いて、みんなでよりよい学習や生活をすることができました。前向きに楽しく学んだ英語の学習では、「自分の言葉として自信をもつ」をテーマに、積極的に会話することに挑戦しました。

また、生活面では、ユニークな係活動で、みんなが明るく過ごしやすいクラスを作っていました。いよいよ最高学年。自分たちのエネルギーとクラスの団結に自信をもって、賀茂小学校を引っばっていってくれることに期待します。【大高】

〈朝の会での学級レクリエーション〉



6年 『十人十色～自分らしく全力で～』

6年生と過ごしたこの一年は、あっという間の一年でした。そう感じるのは、子どもたちが、遠足、運動会、150周年記念式典、たてわり活動などさまざまな行事を全力で乗り越えてきたからだと思います。特に150周年記念式典では、一人一人が個性を生かし、全員が主役として輝く発表会となりました。多くの人にお褒めの言葉をいただいたことで、子どもたちは、最高学年としての自信をもつことができた経験となったことでしょう。「自分で考えて、自分から行動する」この言葉を忘れずに、中学校でも輝いてほしいです。【夏目】

〈修学旅行で京都・奈良へ行きました〉



令和5年度の予定

4/6	新任式・入学式	6/18	豊橋・学校のいのちの日	11/30	12/1	修学旅行
4/7	始業式	7/20	一学期終業式	12/12		マラソン大会
4/22	学校説明会・授業参観	9/1	二学期始業式	12/22		二学期終業式
5/1	ウォークイン賀茂	9/30	校区合同運動会	1/9		三学期始業式
5/25	26 野外教育活動	10/19	就学時健康診断	2/22		ひとのわ集会
6/15	プール開き	11/1	ホタル放流式	3/22		修了式
6/17	三世代ふれあい活動	11/18	学習発表会			

※予定は変更することがあります。

令和4年度 賀茂小学校の教育活動を振り返って

～自己評価・学校関係者評価から～

(一部抜粋)



賀茂小学校は、児童・保護者に対してアンケートを行ったり、評議員のみなさんにご意見をうかがったりして、令和4年度の教育活動を振り返りました。学校評議員会では、さまざまな視点・お立場から、ご指摘等をいただきました。これらの結果を生かして、来年度の取り組みに力を入れていきます。ホームページでも公開していますので、ご覧ください。

中期目標	重点努力目標（評価項目）		自己評価	総合評価	達成状況と成果	関係者評価	学校関係者の意見・要望	今後の改善方策 次年度への課題 (★学校関係者評価を受けて)
自ら学ぶ力の育成に努める 「わかる、楽しい授業」を基盤に、	自ら考え判断する力の育成	「地域の人・もの・こと」を教材に取り入れ、問題解決学習を実践し、自ら考え、判断する力の育成を図る	B	B	体験的な地域教材の活用は定着している。問題解決の力の育成のために教師の働きかけが引き続き必要である。 発表の力は向上している。学年に応じて、相手の話を聞き、自分の考えをわかりやすく伝える力を積み上げていくことを今後も続ける。	C	学習発表会での、特に6年生の発表がすばらしかった。教室掲示から問題解決的な学習を進めてきたことが十分感じ取れる。もっと、高評価でよい。	各学年でコミュニケーション能力を確実に身につけてきたことが、6年生の発表につながったと考えられる。自ら考え、判断する力の向上のため各学年での目標を踏まえて教材研究をし、子どもに合った有効な工夫を工夫していく。
	コミュニケーション力の育成	発達段階に応じた「伝え合う」ためのスキルを養う	B					
心豊かな子を育てる教育活動を推進する	自己有用感の向上	子どもの居場所を確保し、認め合う場を大切にして、周りから認められている自分を感じさせる	A	B	道徳の授業を大切にし相手の立場に立って考える心を育てた。学級活動や縦割り活動で、自分の役割を意欲的に果たそうとする子どもの姿が多く見られた。 6年児童を中心に挨拶の大切さを伝え合い、全校児童に挨拶の意識が広まった。	A	地域で出会う子どもはしっかり挨拶ができ、言葉遣いも丁寧である。挨拶をすることで、子どもを狙った犯罪の抑止力にもなると考えられるので、学校・家庭の両方で指導が必要である。	今後も道徳の授業を大切にし、学級や縦割り班活動などで、どの子どもも主役になれるような場面を設定していく。 地域の方に挨拶ができ、地域で子どもを見守る賀茂のよい特性を残しているよう、家庭とも連携して挨拶の意識向上を図っていく。
	生活習慣の基本、挨拶意識の向上	「いちばん挨拶ができる学校」をキーワードに、挨拶・返事の習慣化を図る	B					
規則正しい生活習慣を養い、心身ともにたくましい子の育成に努める	健康で丈夫な体作りへの意識の向上	自分の健康に関心をもち、日常生活を振り返り改善できる子どもを育てる	A	A	学校保健委員会にスポーツトレーナーを招き、体幹を鍛え体力を向上させるための運動方法を学んで、すすんで体を鍛えようとする子の育成に努めた。 縄跳び活動、体育の授業のはじめに体力をアップさせるためのトレーニング「賀茂っ子ドリル」に継続して取り組み、意識向上に努めることができた。	A	縄跳びは全身運動であり、とてもよい取り組みだと思う。発達段階に応じた運動の仕方を教えてもらえることはとてもよい。スポーツトレーナーの活用も賀茂っ子ドリルも継続していくとよい。	春に行った体力テストの種目を冬に計測したところ多くの子が例年より運動能力が向上していることが判明したので、来年度も取り組みを続けていく。 来年度は、体育の授業でスポーツトレーナーから、子どもの発達段階に応じた体の動かし方を教えていただく。
	バランスのとれた基本的な体力の育成	縄跳び活動、体力アップトレーニングなどの総合的な体力向上をめざす活動を、年間を通して取り組む	A					
安心して学ぶことができる、通わせることができる学校づくりを推進する	職員の安全に対する意識の向上	「安全が最優先」を肝に銘じ、リスクマネジメントとクライスマネジメントの視点から、安全管理体制を充実させる	A	A	より具体的な状況を想定した避難訓練を計画・実施し、子ども及び職員の意識向上が図られた。緊急対応時の職員の動きを全職員で研修し、安全意識を常にもつよう努力した。 声を掛け合い協働することを心がけ、子どもに向き合う時間とゆりの確保に努めた。	A	小学校であらゆる場面を想定した訓練ができていることはありがたい。授業で学んだことを生かし、防災グッズの点検や確認をするなど、家庭での防災意識も高まっている。	さまざまな災害が起こった時にどうやって自分の身を守ればよいか、避難訓練の時だけでなく、常に子どもたちに意識させるように指導する。 常に安全面での配慮を怠らず、災害や事故への危機意識を高め、教育活動にあたる。
	教員の多忙化削減	全職員協働での教育活動の推進、タイムマネジメント能力の向上をめざす	A					

【自己評価 A：十分に達成されている B：概ね達成されている C：あまり達成されていない D：ほとんど達成されていない】

【総合評価 自己評価をもとに 上記のA・B・C・Dで評価】

【関係者評価 A：適切である B：概ね適切である C：あまり適切ではない D：適切とは言えない】

